

## キンダリー4E号変更に伴う血液検査の検討

東海病院 透析部

○代田信夫 (シタ ノボオ) 山下哲哉 栗山 謙 江本秀斗

### 【目的】

従来のキンダリー2E号 (Ca 濃度 3.0mEq/L) から 4E号 (Ca 濃度 2.75) に変更し血液検査について比較検討した。

### 【方法】

8月22日変更前3か月、変更後3か月間の透析前値 Ca,IP,AL-P,i-PTH の測定、DAB-E 供給濃度の安定性について検討。

### 【対象】

PTX,DM,入院者を除く慢性腎不全維持透析患者72名について計6か月の血液検査の測定。

### 【結果】

2E号の Ca は 9.3mEq/L、IP5.1mEq/L、AL-P252U/L、i-PTH189pg/ml、4E号の Ca9.4 mEq/L、IP5.1 mEq/L、AL-P248 U/L,i-PTH202 pg/ml と有意差がなかった。DAB-E の電解質濃度は使用開始時より安定しており 2E と同程度である。

### 【考察】

4E号は3か月間の短いデータ比較ではあるが従来の2E号と比較し遜色なく扱い易く濃度も安定した透析液といえる。引き続きデータの検証を行いたい。